平成28年度

会館だより

第　4　号

現・旧寮生交流会

― 再び、ありがとう

岩手県学生会館

平成28年12月6日発行

平成28年度 現・旧寮生交流会開催

まずはトークディスカッション。先輩からのアドバイスを真剣に受け止めて

交流会を振り返って

生内　雄之介

十一月二十三日に催されたＯＢ・ＯＧ交流会の幹事を務めた生内です。

幹事として交流会を振り返り、昨年に比べて参加者はやや少ない感がありましたが、一・二年生の方々を中心に参加して頂き、ＯＢ・ＯＧの方々との交流を深めてくれて大変嬉しく思います。

ＯＢの佐々木敦斗さんを中心に企画され、卒業生の方々が今、どのような活動をなされているのかなどをテーマに在寮生とのトークディスカッションを行いました。現役生は、先輩方の話をもとに、自分の将来を考える一助となればと思います。

繰り返しになりますが、無事に交流会を終えられた事に満足しつつ、開催に先立ち準備の際に協力していただいた方々にこの場を借りてあらためて感謝致します。

来年は、参加者が更に増えて、引き続き催されることを願っています。

ありがとう、先輩方

感謝の言葉でいっぱいです

交流会に参加して、良い刺激を受けました。大学４年間で自分にたくさん投資して立派な社会人になりたいと思いました。ぜひ来年も参加したいです。Ａ．Ｏ

先輩方のお話を聞いて、これからの大学生活をどう過ごすか考える良い機会になりました。時間のある今だからこそ様々なことにチャレンジしようと意識を高めることができました。ありがとうございました。Ｙ．Ｈ

退寮された先輩方とお話した時間はとても貴重なものとなりました。主催してくださった先輩方、ありがとうございました。Ａ．Ｓ

先輩方が自分の仕事に誇りを持っておられることがとても印象的でした。私も同じ岩手県出身者として、郷土愛を忘れずに自分の夢を追いかけていきたいと思える機会となりました。Ｈ．Ｕ

懇親会も楽しく

アドバイスなど聞けて楽しかったです。来年も楽しみにしています。お忙しい中来てくださり、ありがとうございました。Ｒ．Ｋ

乾杯は在京岩手学生会初代代表幹事藤根様

短い時間でしたが初めて会った先輩方と交流できてよい経験になりました。Ｋ．Ｕ

90 を超えられた藤根様のお話を皆、真剣に聞いていました

今年も開催できた現・旧寮生交流会。準備に当たった幹事の皆様ご苦労様でした。「途中参加でしたが、久しぶりに会う方もいて、楽しい会でした。定期的にこういう会があるのはよいことだと思います。」という声がある一方、「仲の良い子が出ないと自分も出ないことになるのでは」といった声もあります。皆さんで盛り上げてもらいたいものです。

この卵は岩手銀行平舘支店長、菊地様からの差し入れです。

―　前号に続く　―

パ　ー　マ

菅原大嗣

そんなある日の学校訪問、いつものように子供たちと「楽しく」折り紙を使って触れ合っていたとき、一人の女の子がおもむろに席を立ち、外に出ていきました。「トイレかな」そう思い外を覗くと、なんと彼女は校庭に痰を吐いていました。ことを済ませると何の気なしに教室に戻っていくその姿を見て、私は何とも言えない不安感を抱かざるを得ませんでした。その後、教室を出たことを少し恥ずかしそうに私に笑いかける彼女の口には何本もの未治療の虫歯が残されたままでした。その瞬間、フラッシュ暗算のように蘇ってくる数多の光景！それは、校庭にゴミが当たり前のように捨てられていた現状や、野良犬が平気でうろついている校庭の風景でした。私は、どうやらフィリピンの人たちに対しある種差別と言ってもいいような感覚を、知らず知らずのうちに心の中に宿していたようです。例えば校庭にゴミが捨てられているという事実一つ取っても「フィリピンだからそうだよな」と思って気にも留めないような浅はかな認識です。これと同じような事態がもし日本で起こっていたらどうでしょう。自分の大学のベンチ周りに大量のゴミが隠されて捨てられている。そんなことを知ったら私なら決して見過ごすことはしないでしょう。何よりもまずその状態に憤りを感じると思います。ではなぜフィリピンの学校ではそう感じないのか？どこか心の中にフィリピンの学校はそういうものだという偏見があるのではないか？そんな自分の大きな間違いに気づいたときすでに滞在日数は残り半分をきろうとしていました。それからというもの、私は今行っている活動が「フィリピン」に住む子供たちに対してのものではなく、私たちと同じ地球に生きる子供たちのために行っているのだという意識で取り組むようになりました。そこに「差」は存在せず、あるのは「異なった」環境と人種だけであり、それぞれが相互に教えあい受け入れていくことで、一つの文化の交換をしているに過ぎないのだということを強く意識するようになりました。

そうして少しずつ、私の中で芽生えていった新しい笑顔の意味は、「僕らと出会った時間が、彼らにとって少しでも充実したものになってくれたら」「僕たちにとってはたくさんの小学校の中の一つに過ぎないかもしれないけれど、彼らにとっては一生の中で触れ合う最後の外国人になるかもしれないのだ」という思いであり、残りの一週間、精一杯ピエロになったつもりです。この気持ちが、果たして彼らの心に届いたのかは私にはわかりません。ですが少なくとも、私には彼らの気持ちが届いています。あのあたたかい二週間の日々がこうして私を変えてしまったことに、今回のプロジェクトの大きな価値を感じながら、新しい髪形でこれから就活頑張ります。

会館からの連絡

○冬季休業のお知らせ

今冬の休業は12月28日㈬から1月6日㈮までの10日間です。この間、食事の提供はありません。また、入浴に関しても制限がかかりますのでご注意ください。後日詳細はお知らせいたします。

○天気の良い日は換気しましょう

寒くなってまたエアコンを使い始めていると思いますが、異臭を訴える方がおります。原因はもしかすると、カビ？

居室の窓を外から見ると結露が見られることがよくあります。閉め切っているとカビ等の発生の原因にもなりますので、こまめに喚起するように心がけてください。

また、換気の他にも部屋が乱雑ですと埃等体にもよくありませんし、害虫の棲み処にもなりますので清掃も心掛けてください。

○レターケースの整理をお願いします

何度もお願いしていることですが、下足入れの上段部はレターケースとして使用することにしています。実際のところ皆さんは上履き入れとして使うか、あるいは私書箱代わりとして使われております。これでは郵便物や大事な連絡書簡が入る余地がありません。特にも就活を行う方々には夥しい数の書類が届きます。中には、一生ものの大事なものもあると思われます。是非、レターケースは常時空けておくようにお願いいたします。

○洗濯物の取り込みついて

これも何度もお願いしているところですが、依然として取り込みがなされていない状況が見受けられます。洗濯の所要時間は決まっているわけですから次に使う人のことを考えて適切に処理してください。

また、棚の上に取り出されたものも速やかに取り込んでください。以前片付けられたものをまだ取りに来ていない人もいます。自立の第一歩として自分のことは自分でしっかりできるようにしてください。

○夕弁制度の利用について

遅く帰ってくる人のために夕弁制度を設けていますが、夕食の時間外のため監視が行き届かないからか、食べ残し、取り置き、部屋に持ち帰る等、継続が危ぶまれるケースがまま見られるようです。

食に関することで安全が一番重要になるものですので、利用している方は十分気を付けてもらいたいと思います。中には何日も前に申し込みをしているせいか、せっかく準備しているのに申し込んだのを忘れているような人もいるようです。せっかく忙しい中、厨房の方に準備してもらっていますので、是非しっかりと食べてほしいものです。

○器物（ブラインド等）の破損等について

室内の器物、ブラインド、ベッド、照明器具等に破損はないでしょうか。築17年も過ぎていますので様々な個所が傷んできております。もしお気づきのところがありましたらお知らせください。漸次、交換・修理等行ってまいりたいと思います。

◎今年度退寮予定の方へ

そろそろ退寮の申し出をする方が出てくる時期です。予定の立っている方は早めにご連絡ください。

また、3月後半は新年度準備になりますので退寮日の設定にご留意ください。

なお、後ほど退寮される方には手続等に関して文書を入れておきますのでご覧ください。

平成二八年十二月六日発行
編集並びに発行元　公益財団法人岩手県学生援護会
岩手県学生会館
同　学生自治会
住　所　東京都豊島区要町二丁目5番5号
tel　03（3972）4783
fax　03（6676）4471